

# 大田区自立支援協議会 相談支援部会要旨

文責：(江口・障がい者総合サポートセンター一部修正)

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 相談支援部会 (第1回)			
(2) 開催日時	平成29年5月18日(木) 10:00～12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：神作委員)			
	田中 隆博	大場 貴弘	関屋 慶子	今崎 牧生
	大窪 恒	鈴木 啓太	小嶋 愛斗	入戸野 祐子
	大谷 拓郎	内海 玄宗	重清 国夫	
	区職員出席者			
	池課長 (蒲田地域福祉課)		山下係長 (大森地域福祉課)	
	小川係長 (蒲田地域福祉課)		松坂主任 (蒲田地域福祉課)	
	江口係長 (糺谷・羽田地域福祉課)		溝尾係長 (調布地域健康課)	
	金子係長 (蒲田地域健康課)		鈴木係長 (上池台障害者福祉会館)	
	事務局出席者			
	障がい者総合サポートセンター：木伏係長、齋藤、森田			
(5) 内容・要旨	<p>1、2は省略。</p> <p>3、連絡・確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長選任の確認⇒全体で承認</li> <li>・本会についての報告。年3回実施。</li> <li>・本会議の進め方・参加の仕方について確認、目的の共有。</li> </ul> <p><b>※障害者の自立した生活の支援</b></p> <p><b>※地域の障害福祉課題の具体的検討</b></p> <p>4、検討事項</p> <p>①昨年度の相談支援部会経過共有⇒報告書確認 (p51～)</p> <p>役割 現状と課題 基幹を中心とした相談支援体制 おおた障がい者施策推進プランへの意見 他部会との連携 個別支援会議について</p> <p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の抽出からその課題の精査の必要性を感じている。</li> <li>・課題は出たが、十分に検討する時間がなかったと思う。課題を取りまとめる必要と他部会との連携、地域資源の活用が必要では。</li> <li>・個別支援会議は課題を抽出する点では重要と認識しているが、今後は課題を解決する方策を検討すべきではないかと思う。</li> <li>・課題について検証および検討していく必要がある。その後、そのケースがどのように展開していったのかを追跡することも必要ではないか。</li> <li>・個別支援会議→事例検討、地域課題の洗い出しからの解決に向けての検討の場が必要。</li> <li>・事例を検討することの重要な意味は感じる。現場に寄り添いながら探ってい</li> </ul>			

く必要性がある。

- ・個別支援会議は限定された期間で行われ、課題の抽出、地域課題への吸い上げと長期的なスパンでみていく必要があると思う。課題の解決に向けて区の施策に反映させていくこともありうるが現実的には難しい点もある。

(個別支援会議の運営について)

① 個別支援会議の継続

- ・個別支援会議の現在までの積み重ねから、地域課題は浮き彫りになってきていると思う。そこからの課題の抽出が必要で、「話し合い、検討した」という記録を表に出せるものとしていく必要がある。
- ・積みあがった課題を本会にあげていくような検討も必要ではないか。
- ・現場で困っている、悩んでいる支援困難なケースなど、個別支援会議にあげて柔軟に対応できるメリットはある。課題の共通認識がはかれる。
- ・事例検討した後の事後検討が必要。フィードバックして確認するべき。抽出された課題を追跡することが重要だと思う。

② 課題についての検討

⇒資料5のように、相談支援部会には個別支援会議が構成されており、地域課題の洗い出しという側面がある。

- ・前期は今まで積み重ねてきた事例検討の中からの課題を抽出し、追跡および検討を行う方向で確認。(⇒作業部会の検討を踏まえて)
- ・後期は、事例検討を(1～2回程度)を予定。

⇒資料8の予定表は作業部会の検討により内容の変更予定あり。

○第2回

日時 6月7日(水) 9時30分から12時

場所 さぼーとびあ 5階多目的室